

日本ポリアミン学会第15回年会

(第三報)

2026年1月14日

北里大学 安元 剛

日本ポリアミン学会 会員各位

平素より日本ポリアミン学会の活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。このたび、日本ポリアミン学会第15回年会の開催にあたり、プログラムがまとまりましたので、第三報としてご案内申し上げます。

本年会では、

「ポリアミン研究の新展開 ― 基礎から応用まで」

をテーマに、基礎研究から応用研究まで幅広い分野の最新成果を共有し、分野横断的な議論と交流を深めることを目的としております。

多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

1. 開催概要

- 会期：2026年1月23日（金）～24日（土）
- 会場：北里大学 相模原キャンパス（IPE ホール）
- テーマ：ポリアミン研究の新展開 ― 基礎から応用まで

2. 事前参加登録について

事前参加登録および演題登録は、これまでにご案内した以下のフォームにて受け付けております。当日ご参加予定で、まだ事前登録がお済みでない方は、恐れ入りますがご登録をお願いいたします。

▶ 参加登録フォーム

<https://forms.gle/hZwdCfS9QdWD9Bin6>

3. 参加費のお支払いについて

参加費は事前振込にてお願いしております。

当日ご参加予定で、まだお振込みがお済みでない方は、参加登録フォームの案内に従い、**2026年1月19日（月）**までに下記口座へお振込みください。

- ※ 年会費および研究交流会費は合算のうえ、下記口座へお振込みください。
- ※ 当日参加の場合は料金が異なりますので、事前のお手続きをおすすめいたします。

振込先

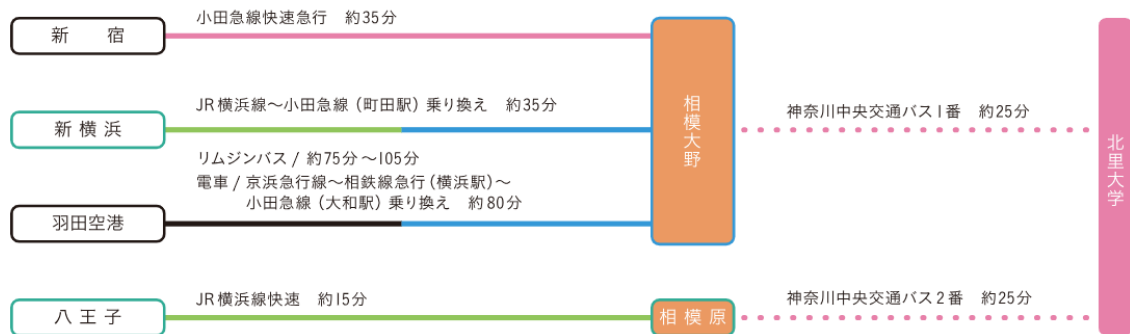
1. GMO あおぞらネット銀行（金融機関コード：0310）
支店名：うみ支店（支店コード：301）
 2. 口座種別：普通預金
 3. 口座番号：3116959
 4. 口座名義：ヤスモト コウ
-

何かご不明な点等がございましたら、お気軽にお問い合わせください。
引き続き、どうぞよろしくお願い申し上げます。

日本ポリアミン学会
第15回年会 実行委員会

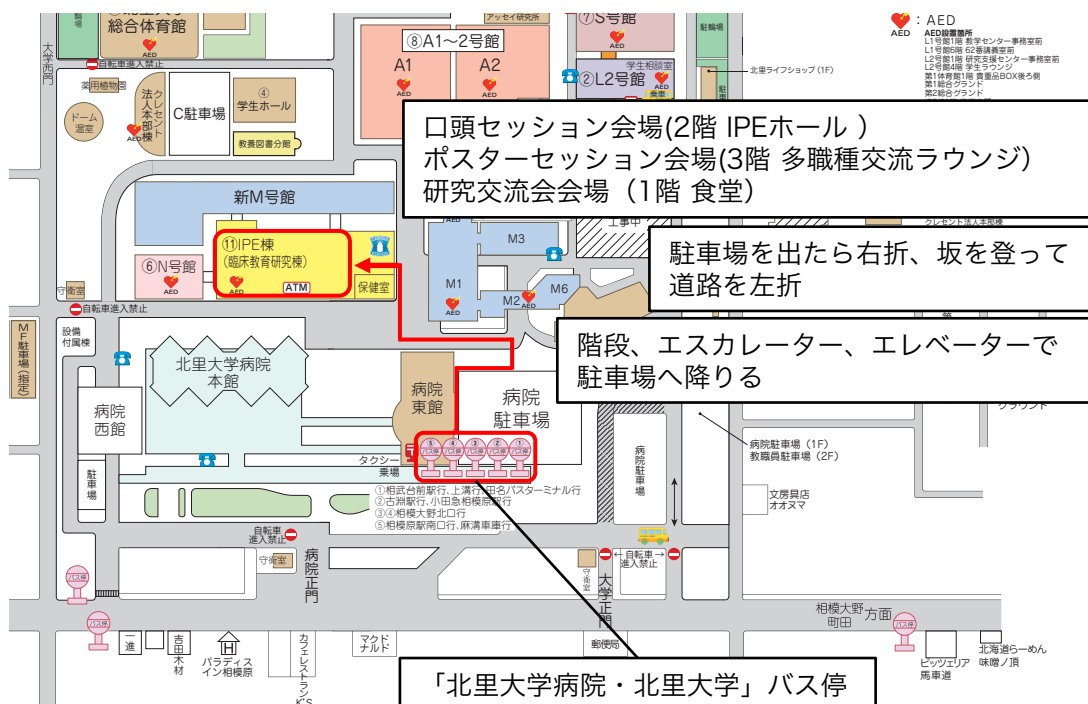
会場へのアクセス

【大学へのアクセスおよび所要時間】



1. 相模大野駅（小田急線）から大学へのアクセス（約 25 分）
相模大野駅北口 1 番乗り場より北里大学病院・北里大学バス停下車
2. 相模原駅（JR 横浜線）から大学へのアクセス（約 25 分）
相模原駅 2 番乗り場より相模大野駅北口行、北里大学病院・北里大学バス停下車

【大学バス停から会場までの経路】



座長と演者の方へ

【座長】

1. 座長の方は、担当するセッション開始3分前までに座長席にご着席ください。時間になりましたら開始してください。できる限り定刻での進行をお願いいたします。
2. 口頭発表の発表時間は 12 分、質疑応答は 3 分です。

【口頭セッション】

1. 発表方法は Windows11 の PC・Office 365 による口頭発表です。PC 操作は講演者自身で行なっていただきます。
画像サイズ：ワイド画面(16:9), 4:3 でも可。フォント：OS 標準のみ
2. 前日までにご発表ファイルを以下のフォルダ入れて下さい。HDMI 接続で自身の PC でのご発表も可能ですが、時間の短縮のためファイル共有にご協力下さい。
<https://kitasato.box.com/s/wf8chxbexwaybhco50hcjf9g5ogbrgci>
3. データの登録および動作確認
ご自身のご発表のセッション前の休憩時間にデータの登録と動作確認をいたします。
4. データファイル名は「演題番号」_(アンダーバー)「氏名」と付けてください
(例) #01_北里太郎

【ポスターセッション】

1. ポスター発表は縦の A0 サイズでご印刷頂きますようお願い致します。
2. ポスターの掲示作業は 12:30 から貼り付けが可能です。15:00 までに発表者自身で掲示をお願いします。
講演番号を指定したボード、掲示用マグネットは事務局にて用意します。

日程表

1 月 23 日(金)

- 12:30-13:00 受付
- 13:00-13:10 開会の挨拶・諸連絡
- 13:10-14:10 口頭セッション A (#01-#04)
- 14:10-14:20 休憩
- 14:20-15:20 口頭セッション B (#05-#08)
- 15:20-15:30 休憩
- 15:30-16:30 口頭セッション C (#09-#012)
- 16:25-16:35 移動
- 16:35-17:35 ポスター (P1-P7)
- 17:35-17:45 事務連絡
- 18:00-20:00 研究交流会

1 月 24 日 (土)

- 10:00-10:10 連絡
- 10:10-11:25 口頭セッション D (#013-#017)
- 11:25-11:30 移動
- 11:30-12:30 総会
- 12:30-13:15 昼休み
- 13:15-14:15 口頭セッション E (#018-#021)
- 14:00-14:10 休憩
- 14:10-14:45 閉会

口頭セッション プログラム(1 月 23 日)

口頭セッション A (#01-04) 13:10-14:10

座長：根本直樹

01 13:10-13:25

サンゴ幼生の骨格形成時の pH 制御へのポリアミンの関与

○高橋有南¹⁾、水澤奈々美¹⁾、渡部終五¹⁾、井上真莉菜¹⁾、鈴木道生²⁾、井口亮^{3,4)}、飯島真理子^{3,4)}、安元純^{5,6)}、中村崇⁷⁾、酒井一彦⁸⁾、廣瀬美奈⁹⁾、安元剛¹⁾

¹北里大学海洋生命科学部、²東京大学大学院農学生命科学研究科、³産業技術総合研究所ネイチャーポジティブ技術実装研究センター、⁴産業技術総合研究所地質調査総合センター、⁵総合地球環境学研究所、⁶琉球大学農学部、⁷琉球大学理学部、⁸琉球大学研究共創機構産学官共創ユニット

02 13:25-13:40

GC-TOFMS を用いた稚サンゴのメタボローム解析とポリアミンの関わり

○窪田梓¹⁾、生方正章¹⁾、水澤奈々美²⁾、飯島真理子³⁾、安元純⁴⁾、安元剛²⁾

¹日本電子株式会社、²北里大学 海洋生命科学部、³産業技術総合研究所 地質情報、⁴琉球大学 農学部

03 13:40-13:55

超好熱性アーキア *Pyrobaculum calidifontis* における高温適応型ポリアミン生合成経路の解明

○藤崎大悟¹⁾、前川和葉²⁾、石井友理¹⁾、藤原伸介^{1,2)}

¹関西学院大 生命環境、²関西学院大院 理工

04 13:55-14:10

腸内細菌由来のポリアミンがキイロショウジョウバエの活動量に及ぼす影響

○藤田剛士¹⁾、下川ひろみ¹⁾、三保裕也¹⁾、堀亜紀²⁾、門口響²⁾、倉石貴透²⁾、栗原新¹⁾

¹近大院 生物理工、²金沢大 医薬保健

口頭セッション B (#05-08) 14:20-15:20

座長：南澤磨優寛

05 14:20-14:35

シロイヌナズナの木部分化制御におけるサーモスペルミン作用標的

○皿海充¹⁾、徐耀¹⁾、六田幸輝¹⁾、西井裕一¹⁾、高橋卓¹⁾

¹⁾岡山大学 大学院環境生命自然科学研究科

06 14:35-14:50

Nucleolin plays a role in thermospermine-dependent translation of uORF-containing mRNAs in *Arabidopsis thaliana*

○Fahad Mohammed Tonmoy Chowdhury¹⁾、Koki Mutsuda¹⁾、Taku Takahashi¹⁾

¹⁾Grad. Sch. Env. Lif. Nat. Sci. Tech., Okayama University

07 14:50-15:05

小脳プルキンエ細胞での小胞型ポリアミントランスポーター(VPAT)の発現とポリアミン分泌

○表弘志¹⁾、神谷舞優¹⁾、中西深愛¹⁾、日浅未来¹⁾

¹⁾岡山大学 学術研究院 医歯薬学域(薬)

08 15:05-15:20

VPAT 依存的なポリアミン分泌による肺サーファクタント分泌制御

○日浅未来¹⁾、早形奏美¹⁾、園山和花子¹⁾、福本彩加¹⁾、上原美瑞紀¹⁾、
表弘志¹⁾

¹⁾岡山大院 医歯薬 生体膜生理化学

口頭セッション C (#09-O12) 15:30-16:30

座長：高橋卓

09 15:30-15:45

遺伝子発現に対するプロレスインとスperlミジンの協調/拮抗作用:DNA 高次構造変化との相関

○小川遥士¹⁾、西尾天志²⁾、吉川祐子¹⁾、剣持貴弘¹⁾、吉川研一¹⁾

¹⁾同志社大学 生命医科学研究科、²⁾産総研 モレキュラーバイオシステム研究部門

O10 15:45-16:00

NMR 解析によるスperlミンと CCUG リピート RNA の相互作用の解明

○小黒明広¹⁾、檜山悠翔²⁾、河合剛太²⁾

¹⁾東京慈恵会医科大学 分子生理学講座 体力医学研究室、²⁾千葉工業大学大学院 先進工学研究科 生命科学専攻

O11 16:00-16:15

eIF5A2 依存的な翻訳伸長を阻害する化合物の探索

○鈴木雅斗¹⁾、米野雅大¹⁾、安村凌介¹⁾、三輪有由奈¹⁾、小谷仁司²⁾、

松本健³⁾、秋本和憲¹⁾、高橋智聡⁴⁾、五十嵐一衛⁵⁾、東恭平¹⁾

¹⁾東京理科大学 薬学部、²⁾島根大学 医学部、³⁾理化学研究所 環境資源科学研究センター、⁴⁾金沢大学 がん進展制御研究所、⁵⁾アミンファーマ研究所

O12 16:15-16:30

がん抑制遺伝子と合成致死の関係にある候補遺伝子群の同定

○松本健¹⁾、高瀬恵¹⁾、吉田稔^{1,2,3)}

¹⁾理化学研究所 CSRS 創薬シーズ、²⁾東京大学 特別教授室、³⁾東京大学 CRIIM

口頭セッション プログラム(1 月 24 日)

口頭セッション D (#O13-O17) 15:30-16:30

座長：小黒明広

O13 10:10-10:25

マウス骨格筋萎縮におけるポリアミン代謝経路の減弱

大藪葵^{1,4)}、佐藤友紀²⁾、川口留奈¹⁾、吉岡潔志^{1,3)}、伊藤尚基⁴⁾、江口貴大⁴⁾、
後藤仁志⁵⁾、吉澤達也⁵⁾、小川佳宏⁶⁾、小野悠介^{7,8)}、三浦進司²⁾、

○亀井康富¹⁾

¹京都府立大学大学院 生命環境科学研究科 分子栄養学研究室、²静岡県立大学 食品栄養科学部、³一般社団法人プロダクティブ・エイジング研究機構 (IRPA)、⁴国立開発法人 国立長寿医療研究センター ジェロサイエンス研究センター、⁵京都府立医科大学大学院 医学研究科 細胞生物学、⁶九州大学大学院 医学研究院 病態制御内科学、⁷熊本大学 発生医学研究所、⁸地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター

O14 10:25-10:40

L-アルギニンとリモノイドによるVDR-ポリアミン代謝軸の再構築はアルツハイマー病モデルマウスの病態進行を抑制する

○南澤磨優覧^{1,2)}

¹千葉工大 先進工学研究科 生命科学専攻、²先進工学部 教育センター

O15 10:40-10:55

L-アルギニンとリモノイドで治療したヒト Alzheimer's 病モデルマウスの腸内環境の分析

○数藤俊輔¹⁾、羽根礼人¹⁾、南澤磨優覧^{1,2)}

¹千葉工大 大学院 先進工学研究科 生命科学専攻、²千葉工大 教育センター

O16 10:55-11:10

腸内細菌叢と Polyamine 代謝のリモデリングによる Alzheimer's 病モデルマウスの病態抑制

○赤城紫音¹⁾、カルレッティ ソフィア智美²⁾、坂本泰一^{1,2)}、南澤磨優寛^{2,3)}

¹千葉工業大学 工学研究科 工学専攻、²千葉工業大学 先進工学研究科 生命科学専攻、³千葉工業大学 先進工学部 教育センター

O17 11:10-11:25

大腸管腔内の腸内細菌由来ポリアミンの生体移行

○小野菜摘¹⁾、生田かよ¹⁾、中村篤央¹⁾、栗原新²⁾、松本光晴¹⁾

¹協同乳業 技術開発、²近畿大 生物理工

口頭セッション E (#O18-O21) 13:15-14:15

座長：松本靖彦

O18 13:15-13:30

分裂酵母のポリアミン生合成経路におけるアグマチナーゼの機能解析

○桐本さくら¹⁾、田中寛大¹⁾、西原幹広³⁾、田淵光昭²⁾、田中直孝²⁾

¹香川大院 農学研究科、²香川大 農学部、³西野金陵株式会社

O19 13:30-13:45

白カビチーズ熟成過程における糸状菌の生育がポリアミン系機能性成分の生成に与える影響

○小川音乃¹⁾、石井友理²⁾、藤原伸介^{1,2)}

¹関西学院大院 理工、²関西学院大 生命環境

O20 13:45–14:00

ポリアミンを用いた CO₂ 鉱物化法の検討

○阿部竜万¹⁾、水澤奈々美¹⁾、渡部終五¹⁾、鈴木道生²⁾、井口亮^{3,4)}、
飯島真理子^{3,4)}、安元純^{5,6)}、森安賢司⁷⁾、吉馴太一⁷⁾、廣瀬美奈⁸⁾、安元剛¹⁾

¹⁾北里大学海洋生命科学部、²⁾東京大学大学院農学生命科学研究科、³⁾産業技術
総合研究所ネイチャーポジティブ技術実装研究センター、⁴⁾産業技術総合研
究所地質調査総合センター、⁵⁾総合地球環境学研究所、⁶⁾琉球大学農学部、⁷⁾日
本海水、⁸⁾琉球大学研究共創機構産学官共創ユニット

O21 14:00–15:15

ポリアミンが水生生物に与える影響評価 ―飼育実験と遺伝子解析によるアプ
ローチャー

○井口亮^{1,2)}、儀武滉大²⁾、水澤奈々美³⁾、飯島真理子^{1,2)}、安元純⁴⁾、安元剛³⁾

¹⁾産業技術総合研究所 ネイチャーポジティブ技術実装研究センター、²⁾産業技
術総合研究所 地質調査総合センター、³⁾北里大学 海洋生命科学部、⁴⁾琉球大
学 農学部

ポスターセッション プログラム

[2026 年 1 月 23 日 16:35-17:35]

P1 ヒト Alzheimer's 病モデルマウスの病態抑制における L-アルギニンとリモノイドによる腸内環境のリモデリング

○羽根礼人¹⁾、瀬能彩音²⁾、数藤俊輔¹⁾、南澤磨優覧^{1,3)}

¹千葉工業大学院 先進工学研究科 生命科学専攻、²千葉工業大学 先進工学部 生命科学科、³ 千葉工業大学 先進工学部 教育センター

P2 リモノイド及び L-アルギニンで治療したヒト Alzheimer's 病モデルマウスの腸内細菌叢解析

○瀬能彩音¹⁾、羽根礼人²⁾、数藤俊輔²⁾、坂本泰一^{1,2)}、南澤磨優覧^{2,3)}

¹千葉工業大学 先進工学部 生命科学科、²千葉工業大学院 先進工学研究科 生命科学専攻、³千葉工業大学 先進工学部 教育センター

P3 生息環境とポリアミン代謝が金盞花の二次代謝産物の生成に及ぼす影響

○倉持華¹⁾、南澤磨優覧^{1,2)}

¹千葉工業大学先進工学研究科生命科学専攻、²千葉工業大学先進工学部 教育センター

P4 ゼニゴケにおけるポリアミン代謝経路の解明

○西祥高¹⁾、本瀬宏康²⁾、高橋卓²⁾、高橋芳弘³⁾

¹九州産業大学 大学院工学研究科、²岡山大学 大学院環境生命自然科学研究科 ³九州産業大学 生命科学科

P5 Alzheimer's 病モデルマウスの腸内細菌叢とポリアミン代謝に着目した病態抑制

○カルレッティ ソフィア智美¹⁾、赤城紫音²⁾、南澤磨優覧^{1,3)}

¹千葉工業大学 大学院 生命科学専攻、²千葉工業大学 大学院 工学専攻、³千葉工業大学 教育センター

P6 シロイヌナズナにおける Arginine decarboxylase の発現制御を介した putrescine 恒常性維持機構

○平郡雄太¹⁾、安室美陽²⁾、狩野泰平¹⁾、海藤篤¹⁾、崎浜靖子¹⁾、
後藤優弥¹⁾、山下由衣¹⁾、内藤哲¹⁾、尾之内均¹⁾

¹⁾北海道大学大学院 農学研究院、²⁾北海道大学 農学部

P7 生体ポリアミンおよび合成ポリエチレンジアミンの水生動物における系統特異的毒性

○水澤奈々美¹⁾、飯島真理子^{2,3)}、井口亮^{2,3)}、安元純^{4,5)}、広瀬美奈⁶⁾、
阿部竜万¹⁾、高橋有南¹⁾、大関輝信¹⁾、鈴木道生⁷⁾、渡部終五¹⁾、安元剛¹⁾

¹⁾北里大学 海洋生命科学部、²⁾産業技術総合研究所 ネイチャーポジティブ技術実装研究センター、³⁾産業技術総合研究所 地質調査総合センター、
⁴⁾総合地球環境学研究所、⁵⁾琉球大学 農学部、⁶⁾琉球大学 研究共創機構産学官共創ユニット、⁷⁾東京大学大学院 農学生命科学研究科